

2012 道本部国民春闘討論集会

すべての働く者の処遇改善

春闘の再構築



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美



参加者7人から方針補強やたたかう決意の発言があった=1月10日

1月10日、道本部は札幌サン・プラザで2012国民春闘討論集会を開いた。今年は諸会議の日程上平日の1日開催となったが、全道から124地本・単組・総支部238人(うち女性21人)が参加し、方針提起や基調・特別講演などに熱心に耳を傾けた。(詳細は道本部HP「組合員専用」1/17付参照)

労働者へ配分デフレ脱却

方針提起では文字通り「春闘の再構築」を行いながら、自律的労使関係制度の措置にむけた準備を急がなければならないこと、そのために「労使関係ルールに関する基本要書」を提出し、協定書の締結を重点として取り組むことを提起した。

方針提起では文字通り「春闘の再構築」を行いながら、自律的労使関係制度の措置にむけた準備を急がなければならないこと、そのために「労使関係ルールに関する基本要書」を提出し、協定書の締結を重点として取り組むことを提起した。

どう見る「社会保障・税一体改革」

社会保障を担う立場で議論に参加

自治労は1月10日、政・与党社会保障改革本部の社会保障・税一体改革案の閣議報告を受け、見解を出した。昨年の「成案」に対する見解でも、消費税の引



松上隆明さん



今泉裕さん

積し、カネ余りを起こして、株式投資やその他の流動資産へ資金が投入され、労働者の生活は破壊され、会社は生き延びていく」と説明した。従って、労働者への配分を拡大することはデフレ脱却に不可欠であり、労働組合が賃上げにもっと積極的に関与すべきと、問題提起があった。

自治体職員の頑張りで復旧復興

特別講演では連合福島事務局長の今泉裕さんが、福島第一原発事故後のあらゆる産業の労働者の実態を報告した。今泉さんは、「マスコミが取り上げる内容は一面的であり、もっと多くの課題が福島県内には発生している。その中でも自治体職員の頑張りによって、復旧・復興の取り組みが継続されている」と報告した。その上で、「本当に自治体職員の皆さんには感謝している。公務員バッシングに負けずに、しっかりとたたかっていたら、きたいと激励を受けた。今後、春闘方針は1月

『貧困の指標』見直し? 2010年の調査で、日本では6人に1人が貧困。国際的に比較してもかなり多い。この調査の指標の算定基準を厚労省が来年度までにまとめるらしい。「携帯電話が買えるか?」なども検討されているとか。

朝風

3・11からまもなく1年。」さうなら原発1000万人アクション」では、集約集までにはさまざまな取り組みが繰り広げられる。原発に依存しない社会をめざすため、私たちにできることは1000万人署名をしつかりやることだ。

自治労見解の詳細は

「社会保障・税一体改革」素案に関する自治労見解の全文は、自治労道本部のホームページをご覧ください。

自治労北海道 **検索**

メニューの「単組・組合員専用」をクリック。1月10日付の【本部情報】をクリック。
パスワードは、毎号下段のスケジュール下に掲載

地公三者「独自削減」「賃金継続課題」

地公三者1H・全道庁労連 2Hストライキ

地公三者(議長・千葉利裕、全道庁労連・北教組・自治労道本部)は、昨年末から、給与の独自削減「現給保障措置」などについて副知事交渉を実施している。

高橋知事・道当局は、この間、人件費削減に頼らない行財政運営を行うと約束しながら、またもや「独自削減の『継続』」を強行しようとしている。道職員のみならず、道民に対する事態の説明や責任の所在を明確にせず、さらに多大な負担を強いようとする姿勢は断じて認められない。

地公三者は、1月27日に早朝1時間ストライキを配置(全道庁労連2時間)し、26日、全道昼休み総決起集会を実施し、最終副知事交渉で前進回答をめざす。

JICHIRO スケジュール

1月

- 24日(火) 道本部第9回執行委員会(札幌市)
- 25日(水) 道本部第3回拡大闘争委員会(札幌市)
- 道本部第1回スポーツ運営委員会(札幌市)
- 26日(木) 地公三者総決起集会・副知事最終交渉(札幌市)
- 自治労第143回中央委員会(東京)
- 28日(土) 自治労北海道本部OBL会総会(札幌市)
- 道本部女性交流集会(札幌市)
- 29日(日) 道本部女性部政治集会(札幌市)
- 第11回道本部福祉集会(札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

2012 道本部 自治体財政セミナー

2月10日(金) 13:00 ~ 17:00

講演① 「2012年度地方財政対策」
講師 高木 健二さん 地方自治総合研究所研究員

講演② 「札幌市公契約条例制定にむけた取り組み」
講師 廣川 明男さん 札幌市管財部管理課長

会場: 第2水産ビル8F A会議室
札幌市北区北3西7

さようなら原発1000万人署名

■2月28日最終集約

自治労道本部は30万筆を目標に取り組んでいます

205 単組・総支部 154,014 筆 (1月18日現在)

大間原発建設中止を求める署名

175 単組・総支部 80,154 筆 (1月13日道平和運動フォーラムに集約)

道本部青年部 春闘討論集会

なぜ要求書?! 職場や社会の問題を要求に

道本部青年部は、1月14、15日の両日、札幌市定山溪で春闘討論集会を開き101単組総支部334人(うち女性58人)の仲間が結集した。参加者の約半数である150人が採用1、2年目の仲間、新規採用の回復傾向が顕著になっている。

今年の春闘討論集会は「春闘とはなぜ自治体労働者も春闘をたたかうのか」をテーマとした。集会1日目は、前道本部青年部書記長の國島さんが「春闘の役割とは?」行動すれば変わる」と題して講演した。



採用1~2年の参加者が半数をしめて活気にあふれた=1月15日、札幌市定山溪

みんなで『団結小旗』

一人ひとりが春闘をたたかう決意を固めあい『団結小旗』を取り組む



また、集会では、春闘期の当面する闘争方針として、継続的に取り組んでいる『道本部青年部統一要求書』行動を確認し

た。さらに、部員一人ひとりが春闘をたたかう決意を固め、全部員が参加する大衆行動として『団結小旗』を取り組むこととした。

組合員と家族が大集合

職場だより



177人が集った恒例の「クリスマス忘年会」。抽選会は大盛況!12月22日

【日高地本発】浦河町職員労働組合では、12月22日、毎年恒例の「クリスマス忘年会」を開き、総勢177人の組合員と家族らが参加しました。子どもたちの参加も多く、組合員が扮したサンタクロースとトナカイが登場すると、会場は大いに盛り上がりました。イベント会社に企画を依頼したアトラクションでは、会場内にダイヤモンドアイトコナーが設置され、手や顔にラメで模様を描くサービスには、長い列ができ、女の子に大人気

でした。また、ステージでは、風船や水晶を使ったジャクリンクショーが行なわれ、会場内には、多くの歓声や笑い声が沸き起りました。終盤の抽選会では、人気リゾートの宿泊券や最新ゲーム機などの豪華賞品を前に、ステージで抽選番号が読み上げられるたび、会場内から一喜一憂の声があがり、大盛況でした。例年同様、一年間の思い出や、新年の抱負を語り合う、とても良い機会となりました。(浦河町職員労働青年女性部・荒木麻里)

道本部HPで! 『学生アルバイト白書2011』

北海学園大学 学生アルバイト白書 2011. びっくりなアルバイトの実態. 『夕張再生市民アンケート調査』などでおなじみの、北海学園大学・川村雅則准教授が、ゼミ生と一緒に『学生アルバイト白書』を作成した。学生アルバイトが、単なるアルバイトではなく、その職場の完全なる戦力として位置づけられ、劣悪な労働条件で働かされている。「びっくり」な現代のアルバイト事情を実感してみよう。 ☆道本部ホームページ「単組・組合員」1/12付

シリーズ 子ども・子育て新システム VOL21

ひと汗かこう! 「すべての子どもたちのために」



基本制度ワーキングチームは12月26日に18回目の会議を開き、成案とりにまとめをむけた議論を行いました。今後、もう一度議論を行ったうえで、関係機関とも協議しながら成案とりにまとめを行い、それをもとに法案化、次期通常国会で成立、来年4月の施行、というスケジュールが想定されています。この間の議論経過を大まかに見てみると、やはり規制緩和や地方裁量権の拡大などを求める意見と、最低基準の引き上げ

職場や社会に問題があるからこそ、要求書を掲げ、大衆行動を配置して春闘をたたかっていく」と述べ、「まずは、もう一度しっかりと目ごころの生活や職場を振り返り、仲間と話をしよう」と訴え、団結がんばろうでたたかう意思統一をした。

春闘は、日本の労働組合運動の存在意義を示す活動。1955年から57年間、働く人にとって最大の関心事。8つの産業別労働組合が集まってつくれた「8単産共闘」からはじまり、それぞれの労働組合が、広がった。

そもそも『春闘』って!?

1955年にはじまり57年目 同じような要求を経営側に出し、産業の違いを越えて共同闘争を行った。当時のナショナルセンター総評が、春にいつせいに賃上げ要求を集中させる「春闘方式」を決定し、1956年から全国に広がった。

おーさかさんの国会だより

平成24年度交付税は17兆4500億円と前年当初に比較し800億円増の予算を確保することができました。特に大都市制度に関しては、私が委員を務める地方制度調査会でも議論する予定になっており注目度の高い案件です。民主党は、国のかたちについて、自治体の皆さんとの共同作業を作りあげることとしています。この方針を堅持します。(1月13日函館にて)

忙中余話

新年、明け一つの支援なんだろうとまでおめでたい。この震災であらためて危険性が明らかです。年末年始となった原発を止める。に録り貯めしていた特番も見終わりで、ようやく正月気分。春闘では新たな制度を見据えた取り組みも提案しています。なんか忙中余話というより、課題の羅列になってしまっただけ(笑) 最後に年男にもかかわらず「末吉」のおみくじには、一つつつ動かないかもしれせん。凹み気味の私ですが、今年もよろしくお願いたします。(大島 進)

ろうきんなら 他行CD・ATM お引出し手数料がすべて戻ります! フルキャッシュバックサービス 夜間や休日、出張先のコンビニでも、ろうきんのカードは、お引出し手数料が0円 生活応援バンク 0120-5-109-26 フリーダイヤル